

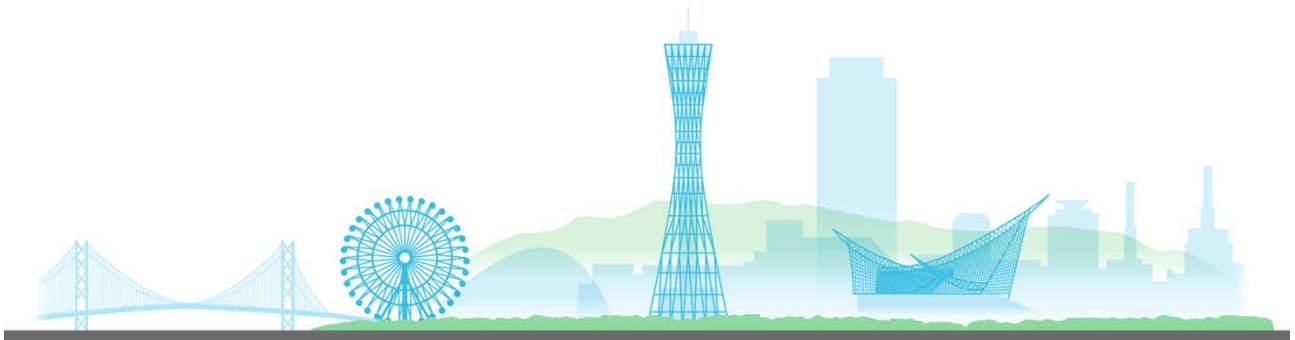
報告事項 2

「平成 29 年度兵庫県予算に対する提案・要望（教育委員会所管分）」について
「平成 29 年度兵庫県予算に対する提案・要望（教育委員会所管分）」について、別紙
のとおり報告する。

平成 28 年 10 月 11 日提出

神戸市教育委員会
教育長 雪 村 新 之 助

平成29年度
兵庫県予算に対する提案・要望
(教育委員会所管分)



教 育 委 員 会

1. 県市一体となった行政サービスのさらなる向上

(企画県民部、教育委員会)

県では、本年度、「第3次行財政改革構造改革推進方策（第3次行革プラン）」の3年目の総点検を実施し、新たな行革プランを策定するとされていますが、先日公表された「第3次行革プラン3年目の総点検における課題と検討方向」では、市政に多大な影響を及ぼす見直し検討項目が含まれています。

今後、多様化する市民ニーズや地域課題に的確に対応した行政サービスを提供するためには、県市の適切な役割分担のもと、県が広域的な観点から実施する事業については、県による事業実施を維持した上で、市で一体的に業務を行うことで市民の利便性向上につながるものについては、住民に最も身近な基礎自治体を実施することを基本に見直しを進め、さらなる行政サービスの向上をはかる必要があります。

(1) 「第3次行革プラン」の総点検における見直し検討事業の継続

○ 県実施事業の継続及び県市負担割合の維持

(主なもの)

- ・ 体験教育推進事業の継続実施
- ・ 老人クラブ活動強化推進事業の県市負担割合の維持
- ・ バス対策費補助の県市負担割合の維持

(2) 事務・権限の移譲に向けた取り組みの推進

○ 県費負担教職員の給与負担等の権限移譲にかかる継続支援及び協力

○ 省略

- (1) 教育委員会事務局 指導部 指導課長 大谷 真一 (078-322-5780)
教育委員会事務局 指導部 特別支援課長 本多 章浩 (078-322-5787)
教育委員会事務局 スポーツ体育課長 上田 訓弘 (078-322-5800)
- (2) 教育委員会事務局 総務部 教職員課長 桑形 雅彦 (078-322-5764)

2. 大規模国際スポーツイベント及び国際会議開催等の推進

(教育委員会)

神戸も開催地に含まれるラグビーワールドカップ 2019 と関西ワールドマスターズゲームズ 2021、そして 2020 年の東京オリンピック・パラリンピックを含む 2019 年から 2021 年までの 3 か年は、世界から日本が注目を集めるゴールデン・スポーツイヤーズと言われています。また、2019 年には国際義肢装具協会 (I S P O) 世界大会が神戸で開催され、多くの外国人の方が日本を訪れることが期待されます。

国内外に向けて兵庫・神戸を発信するため、国際的に注目が高まるこの機会を活かし、広報・啓発活動を積極的に展開するなど、国内外に向けた機運醸成に取り組むとともに、円滑な開催に向けた県市一体となった協力体制が必要です。

(1) 東京オリンピック・パラリンピックの事前合宿誘致等に向けた協力体制の構築

- 県市一体となった強力な誘致活動等の実施

(2) ラグビーワールドカップ 2019 の神戸開催及び関西ワールドマスターズゲームズ 2021 開催に向けた協力体制の構築

- 国内外に向けた機運醸成等に対する支援及び協力

(3) 省略

(1) ~ (2) 教育委員会事務局 スポーツ体育課 国際スポーツ室長 山田 裕之 (078-322-6994)

3. 地域の安全・安心の確保

(教育委員会・警察本部)

平成 14 年以降、兵庫県内の刑法犯認知件数は減少傾向にありますが、凶悪な犯罪や一般市民を巻き込む事件など、地域の安全・安心を脅かし、市民を不安に陥れる事件はあとを絶ちません。また、昨年の市内指定暴力団の分裂抗争の勃発に伴い、周辺地域の警備等の強化が、より一層急務となっております。

地域の安全・安心の確保を図るためには、県市一体となってさらなる徹底した対策に取り組む必要があります。

(1) 警察官による巡回警備の協力

- 全学校園における児童生徒の登下校時を中心とした巡回警備の実施
- 通学路の危険箇所に関する学校との情報共有及び重点的な巡回等の実施

(2) 省略

(3) 省略

(1) 教育委員会事務局 指導部 指導課長 大谷 真一 (078-322-5780)

4. 特別支援教育の推進

(教育委員会)

神戸市の特別支援学校においては、児童生徒の急激な増加により、校舎の狭隘化が進んでおり、今後もさらに児童生徒数が増加することが見込まれています。

また、障害者基本法の改正等に伴う、インクルーシブ教育システム構築の必要性の高まりを受け、特別支援学校ではなく地域の小中学校への通学を希望する、医療的ケアを必要とする児童生徒が増加することも考えられます。

このような状況に対応するため、県市一体となって、特別支援教育を受けられる環境整備・充実により一層取り組んでいく必要があります。

(1) 市立特別支援学校の整備等に対する支援

- 市東部過密化対策として市が建設する特別支援学校に対する支援
 - ・HAT神戸地域特別支援学校の設置に対する財政支援
- 特別支援学校における学級増対策に対する支援
 - ・仮設校舎設置等にかかる事業費に対する財政支援

(2) インクルーシブ教育の推進に向けた支援

- 医療的ケアができる看護師等の人材確保・育成及び小中学校への配置

5. その他の要望

(企画県民部、教育委員会)

(1) 「神戸マラソン」の継続開催に向けた支援

- 「神戸マラソン」の継続開催に向けた財政支援及び人員配置の継続

(2) 多文化共生に向けた教育環境の向上

- 「子ども多文化共生サポーター派遣事業」にかかる人材紹介の協力
- 国際理解・国際交流の促進及び教育環境向上のための外国人学校への支援拡充

(3) 県立高等学校の市内での設置

- 北神地域における県立高等学校の設置
- 神戸市域における県立多部制単位制高等学校の設置